

ソース イート メモリーズ

暮れなずむ空、黄昏雲 誘われるように窓を開けると
胸弾む様な芳ばしい香り と共に心に遠かりしあの日
夕陽に優しい顔を浮かべると 不意に悲しみ加速させるの
暮らしは質素 どんな危機なときも
二人は一緒 そばにいたのに...
デート帰り寄るところお決まりな アーケード内のお好み焼き屋
そこの自慢は 創業の時代から 受け継がれてる秘伝のソース
不貞腐れて不機嫌のポーズ とってたととしても
頬っぺた落ちそうなお馳走食べたら スイートホームへと 二人手を繋ぎ 夜
空に綺羅星☆

甘い、甘い、甘い思い出は 捨ててしまうことはできないの
長い、長い、長いコト秘めたまま いつしか熟してセピア色
鼻をつくのは 香水ってより お腹の空く "ごっついええ匂い"
串カツになりドップリ浸りたい so sweet memory

——アツアツのうちは 澆刺 舞い立つ鯉節
でも春を過ぎ 夏果つように 飽き 冷め (秋雨)
衣濡つカツの串——

この頃ようやく 独身にも慣れ始め
物憂さ払拭し 気を変え街へ
黄檗の夕陽、木の葉 照らして 黄金が綺麗 に焦がれたの見て
今じゃ営業辞めた店 のあのこんがりと揚げたヒレ 思い出して お腹 雄々しく
鳴った
心に味気、濃さが欲しくなった

長い、長い、長い秋の夜 口寂しさに 寝れそうもない
家内 探し回り、味求む 朽ちたに近い 冷蔵庫内
抜け殻みたいなオタフクのチューブ
丸めたら 直にやおら吸うの ちゅうちゅう
浮かぶ あの日の口付け
深々と記憶に耽る...

甘い、甘い、甘い思い出は 捨ててしまうことはできないの
長い、長い、長いコト秘めたまま、いつしか熟してセピア色
鼻をつくのは 香水ってより お腹の空く "ごっついええ匂い"
串カツになりドップリ浸りたい ソース イート メモリー